●２０１５年度　委員会事業報告書

事業室　　地域の力創造委員会

委員長／佐藤　将道　　副委員長／稲場　永次　　委員会幹事／小林　靖広
委　員／河村　悦郎　　紀國　隆介　　國立　朋裕　　坂口　英人　　豊田　康宏
野口　丈介　　濱道　真樹　　島津　悠　　野口　純平　　福原　祐介
三上　隆広

本年、地域の力創造委員会は、住民が優れた資源を保有している道南に地域愛と誇りを持ち、発展への好機である新幹線開業に向け自らの意識で取り組む事で生まれる、「新たな地域の力」を創造する為に活動してまいりました。

４月例会では、新幹線開業の好機に関心を持ち、地域への誇りの醸成を目的とし、一般市民を対象とした例会に致しました。事前に３００名の住民から収集した２市１町に対する意識調査アンケートの結果をもとに、開業の重要性を伝えるプレゼンから開始し、地域交流まちづくりセンターの丸藤センター長と、地方から移住して来た６名の学生と行ったパネルディスカッションを通じ、地域住民では気付けない魅力を認識していただきました。また、新たな可能性を創出する例として実施したテーブルディスカッションから、地域資源を調査・探求する意識を醸成し、道南の持つ魅力や可能性を共有すると共に、市民主導型の事業で取り入れる為のアイディアを募集した事で、住民が活性化に向かい行動できるよう促しました。例会終了後のアンケートでは、多くの来場者の「道南に対して誇りを持てる」との回答結果から、道南に誇りを持っていただけたと感じております。

７月の「Power to the 道南！」では、住民が資源の魅力から発展への新たな可能性を認識する事で地域愛を持ち、開業へ向け地域活性化させる為の主体者意識の醸成を目的とし開催致しました。フードエリアでは、住民が連携し食資源の新たな可能性を創出できるよう、生産者と飲食店による新商品の開発を通じ、発展という共通の目的に向かうコミュニティの形成へと繋げました。ステージでは開業の重要性を歌やクイズでＰＲし、増加する交流人口に対し魅力の発信者となる意識変革の一助となり、活性化に取り組む団体の活動内容の紹介から、地域情報の共有と積極的な活動への意識喚起を促し、フィナーレでは元町公園の魅力を最大限に活かす為にステージをキャンドルで彩り、新たな景観の可能性を体感していただきました。体験・新幹線エリアでは、未来を担う子供達が資源や新幹線の魅力に触れ合い、楽しみながら資源や開業に関心を持っていただき、さらに小冊子に掲載したＳＮＳの投稿方法を通じ、実施後も地域の魅力の発信者として行動できるよう働き掛けました。様々な理由から例年より来場者数は減少してしまいましたが、メンバー同士が支え合いながら構築し、道南の活性化への行動意欲を高められたと考えます。

住民と共に地域に誇りを持ち魅力や可能性を発信できた事で、更なる発展への希望が見出され、「新たな地域の力」を創造できたと感じております。当委員会が１年を通し構築する事業は皆様のご協力なくして実現が不可能である中、毎日明るく豊かな気持ちで取り組めた事に心から感謝を申し上げ、地域の力創造委員会の事業報告とさせていただきます。